

令和4年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	南都留郡道志村野原・大渡～月夜野	地区名	国道413号 (野原バイパス)	事業主体	山梨県	
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等)						
	H25～H31	H25～R4	変更計画	なし					
総事業費	4,600 百万円	4,600 百万円	H25～R11	6,056 百万円					
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
<p>国道413号は、富士吉田市上吉田から山中湖村及び道志村を経て神奈川県厚木市に至る幹線道路であり、第一次緊急輸送道路である。道志村内においては、村内唯一の生活幹線道路であるとともに休日の交通量が平日の2倍以上となる観光道路でもある。さらに、正規の構造規格を満たしていないため事故も多発しており危険な状態となっていることから抜本的な道路整備が求められている。</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険度 (落石等) : 要対策・要監視箇所あり 損傷度等 (落石等) : 通行止めの実績 (過去3年間) 7回>2回以上※ 緊急輸送道路の指定: 指定有 (第一次緊急輸送道路) 自動車交通量: 942台/12h (平日) (H22センサ) <3,428台/12h (平日) 以上※ (3,643台/12h (休日)) H22センサ <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持</p>									
②事業概要									
道志村野原～月夜野におけるL=1,990mについてバイパス整備 道路幅員6.0→7.5m									
③全体計画									
現計画	工事内容	令和3年度まで 詳細設計・地質調査 用地測量・用地補償 道路改良工・橋梁工 トンネル工	令和4年度 (評価実施年度)	舗装工					
	事業費	4,300 百万円	300 百万円						
変更計画	工事内容	詳細設計 地質調査 用地測量 用地補償 道路改良工・橋梁工	令和4年度 (評価実施年度)	道路改良工 橋梁工 トンネル工	令和5年度以降	道路改良工 橋梁工 トンネル工 舗装工			
	事業費	1,530 百万円	503 百万円	4,023 百万円					

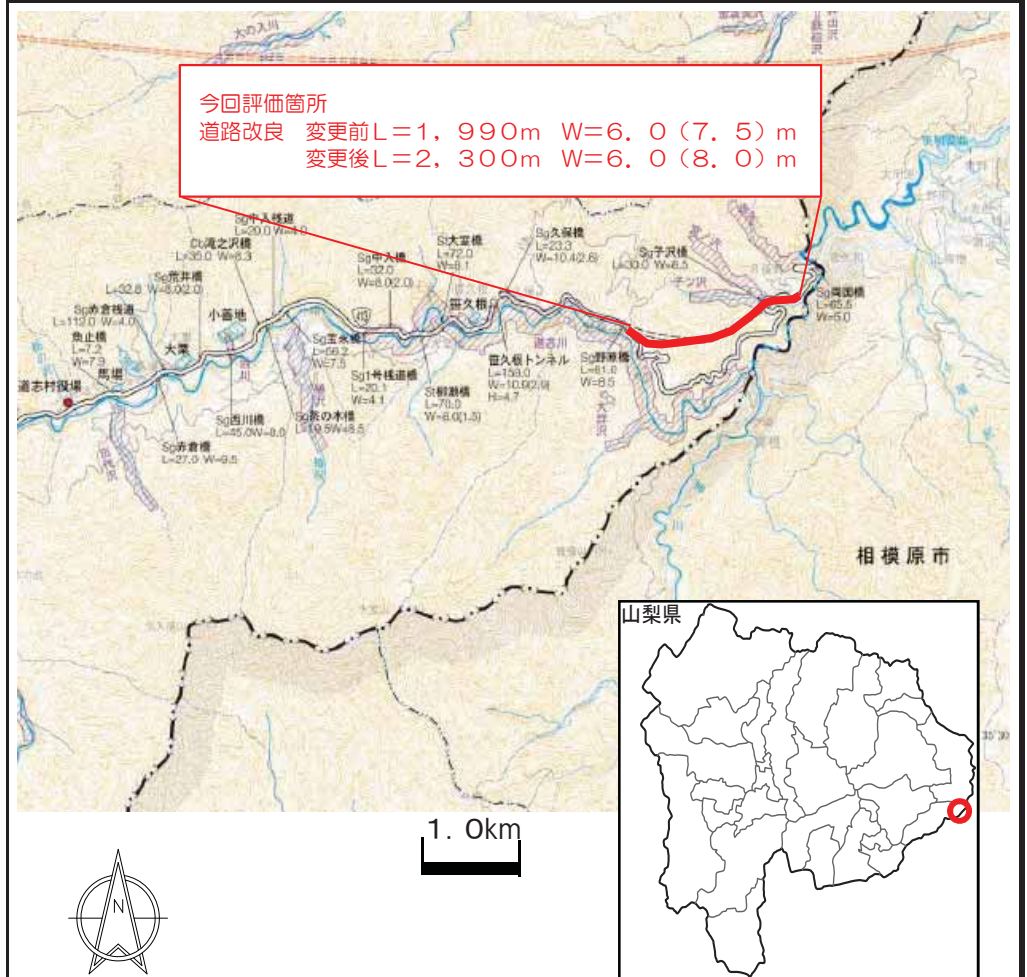
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項 (関連事業概要等)
なし

⑤これまでの評価状況 (平成24年度事前評価)

主要目標である災害に強い道路の確保以外にも道路ネットワークの強化、観光道路としての機能向上などの観点からも整備が必要な事業で、実施が妥当である。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

地域住民は本事業の早期完成を一層望んでいる

②産業・経済情勢

- ・本路線の交通量は次のとおり増加傾向にある（H22㍻ス→H27㍻ス）
 [平日] 942台/12h → 1,723台/12h
 [休日] 3,643台/12h → 4,108台/12h
- ・本路線において東京オリンピック2020自転車ロードレースを開催

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- 「山梨県総合計画」（令和3年改定）
- 「東京～山梨・長野交通強靱化プロジェクト」（R2.1規約策定）
- 「山梨県強靱化計画」（R2.3改訂）
- 「国道413号の強靱化に関する協定」（山梨県と相模原市でR2.7締結）
- 「山梨県社会資本整備重点計画－第四次－」（R3.3改定）
- 「山梨県広域道路交通計画」（R3.3策定）
- 「山梨県道路の整備に関するプログラム」（R4.3改定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	変更計画時点
総事業費		4,600 百万円	6,056 百万円
工期		H25～H31	H25～R1 1
評価基準年		H24	R4
経済 効 率 性	費用	3,800 百万円	5,565 百万円
	建設費	3,600 百万円	5,309 百万円
	維持管理費	230 百万円	256 百万円
	その他(0 百万円	0 百万円
	便益	5,500 百万円	7,399 百万円
	走行時間短縮	4,300 百万円	6,243 百万円
	走行経費減少	1,100 百万円	794 百万円
	交通事故減少	3 百万円	25 百万円
	その他※	0 百万円	337 百万円
	B/C		1.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

用地取得に日数を要し、事業期間の見直しを行った。
 （平成30年度変更内容）

完成年度 当初：平成31年度 → 変更：令和4年度

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R4年度進捗率(現計画)100%→(実績)44.2%→(変更計画)33.6%

②進捗率実績が計画と相違している理由
 ・BP本線と現道をつなぐ取付道路の構造について地元との合意形成に時間を要したため
 ・橋梁工事に必要となる施工ヤードの借地交渉に時間を要したため
 ・地質調査の結果、法面対策工等の設計費及び工事費が増大したため
 ・山梨県自転車活用推進計画にて「オリンピックレガシーロード」に指定され自転車通行空間を確保することとなり道路幅員の見直しを行ったため

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
鉄筋挿入工 グラッドアツカ-工	1,134百万円 増減	地質調査の結果工部で法面対策工が拡大したこと及び労務費・物価等の上昇に伴い工事費が増大した
トンネル工	181百万円 増減	道路幅員の見直し及び労務費・物価等の上昇に伴い工事費が増大した
橋梁工	141百万円 増減	道路幅員の見直し及び労務費・物価等の上昇に伴い工事費が増大した
合計	1,456百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
 バイパス本線と現道をつなぐ取付道路の構造について、地元との合意形成に時間を要したため道路改良工事着手に遅れが生じた。また、橋梁工事に必要となる施工ヤードの借地交渉に時間を要したため、橋梁工事の着手に遅れが生じた。以上のことから工期を7年延長し、R11年度の完了を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
 バイパス工事により道志川へ濁水が流入しないよう地元から強く要望されている。

(5) 環境負荷等への配慮

設計にあたっては、トンネルにより大規模な地形改変を生じさせないよう、良好な自然環境の確保に十分配慮している。

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)
 用地も取得が出来ていることから継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和11年度の完了を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

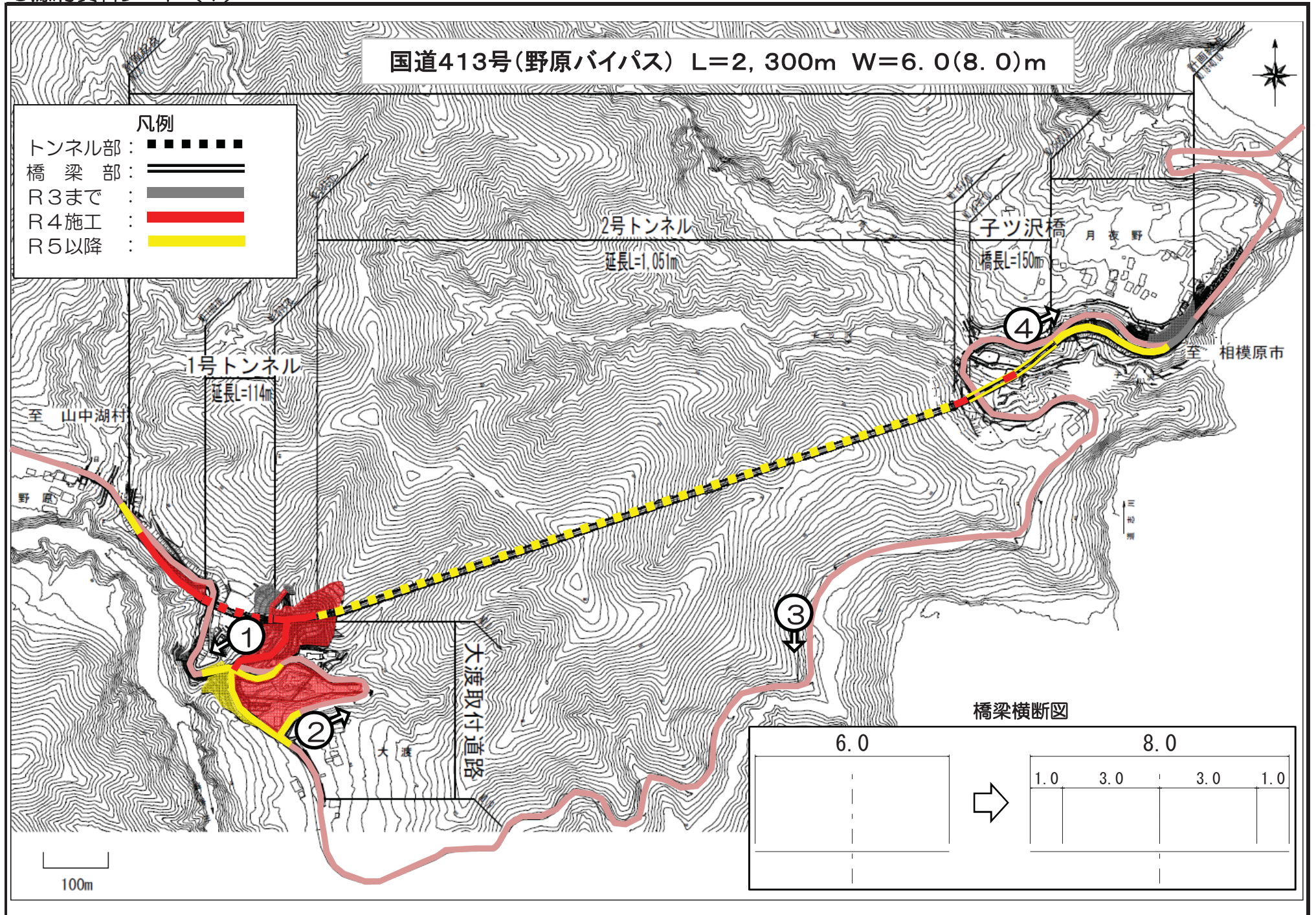
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	現	計画	2.2	5.4	10.9	28.3	60.9	82.6	91.4	95.7	98.0	100.0						
	実績	2.9	4.1	4.3	5.1	5.8	8.7	17.4	26.5	33.3	44.2							
	変更計画										33.6	44.7	60.0	77.5	88.3	93.4	96.7	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R4年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)

① 事故多発箇所



② ヘアピン箇所



③ 視距不良箇所



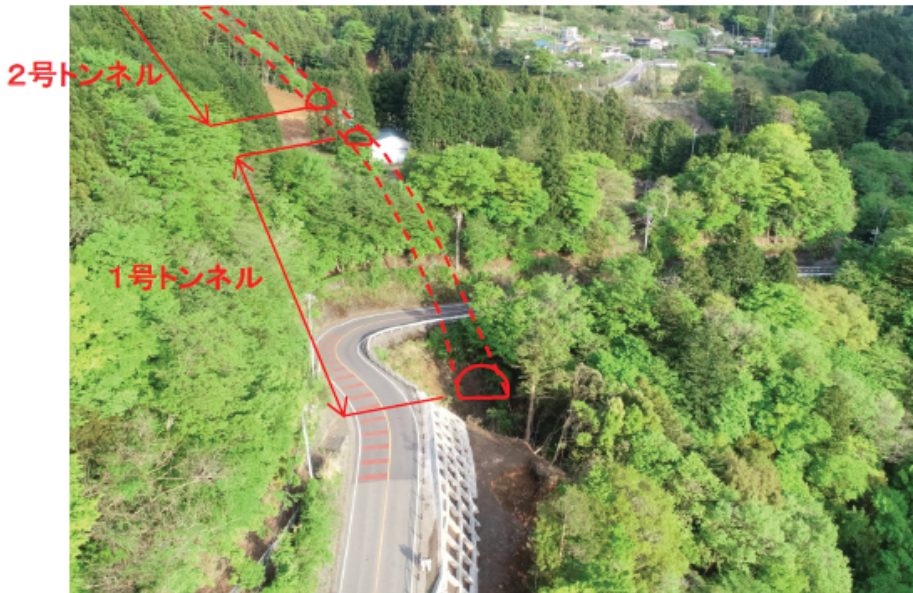
④ 土砂崩落による通行止め状況



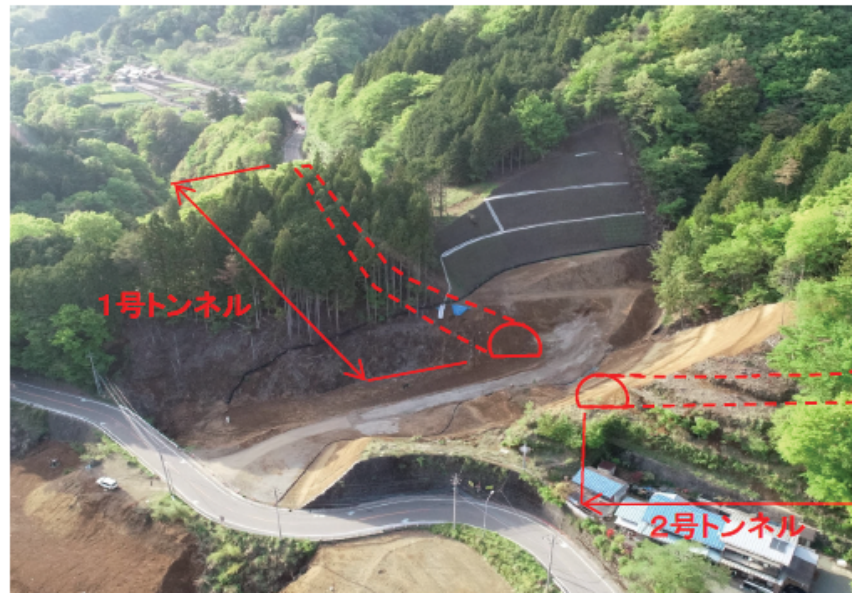
平成23年7月20日撮影

現況写真

① 起点側 (1号トンネル起点側より終点を望む)



② 施工状況 (大渡交差点)



③ (仮称)子ツ沢橋施工箇所 (A1橋台)



④ 終点側 (施工状況)



事業費増の理由① 法面工の変更

法面工の見直し(代表箇所を記載)

・地質調査の結果、一部区間の地山に脆弱な地質が確認されたため、法面工法および施工範囲を変更

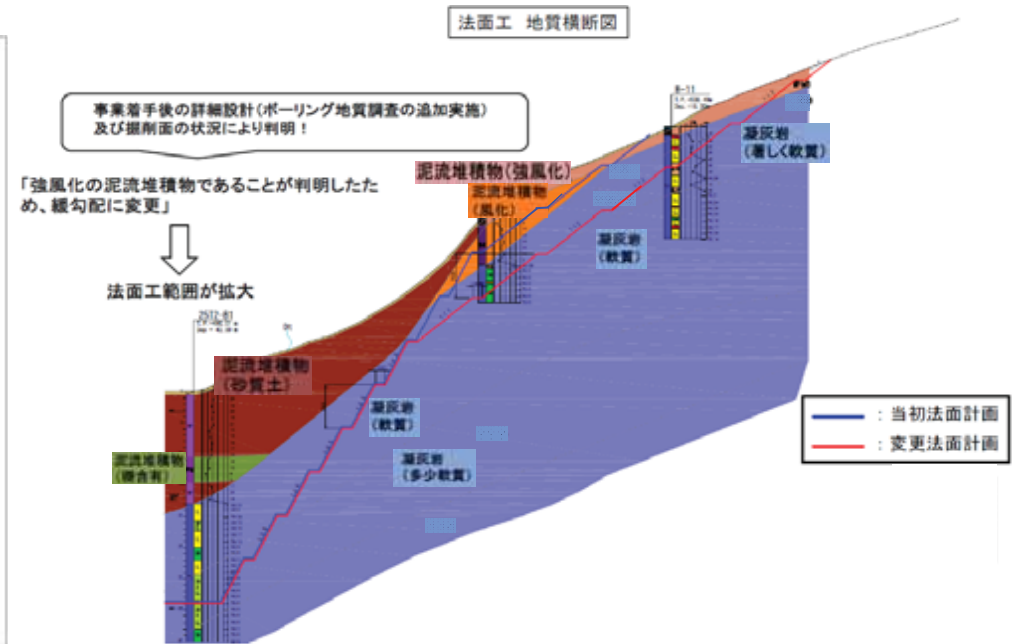
【当初】

- ・11段(安定勾配+法枠工3段、アンカー工+鉄筋挿入工8段)

【変更】

- ・13段(安定勾配+法枠工7段、アンカー工+鉄筋挿入工6段)
- ・1274m²法面積拡大(赤色着色部)

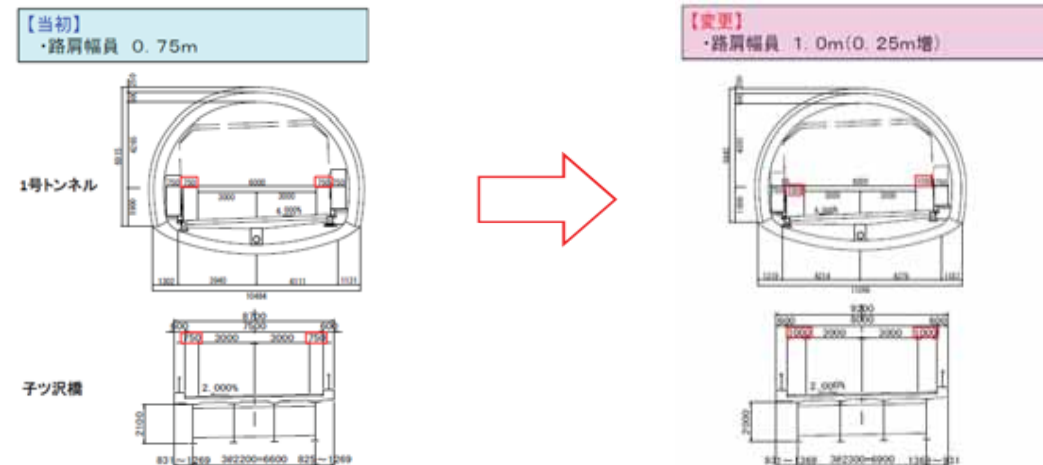
【変更】
法面工法および施工範囲の見直し(野原側・月夜野側の法面含む) C=1,134百万円増



事業費増の理由② 道路幅員の変更

○山梨県自転車活用推進計画にて「オリンピックレガシーロード」に指定され、自転車通行空間を確保することとなり道路幅員の見直しを行った。

- ・【当初】6.0m(7.5m)
- ・【変更】6.0m(8.0m) 路肩幅員0.75m→1.00mに増



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	132,785	詳細設計	2.2%
H26	57,127	詳細設計・地質調査・用地測量	3.1%
H27	8,137	詳細設計	3.3%
H28	35,184	用地補償	3.9%
H29	34,334	用地補償	4.4%
H30	134,372	用地補償・道路改良工	6.6%
R1	398,606	道路改良工	13.2%
R2	419,008	道路改良工	20.1%
R3	310,000	道路改良工・橋梁工	25.3%
R4	503,000	道路改良工・橋梁工・トンネル工	33.6%
R5	674,000	道路改良工・橋梁工・トンネル工	44.7%
R6	926,000	道路改良工・橋梁工・トンネル工	60.0%
R7	1,063,000	道路改良工・橋梁工・トンネル工	77.5%
R8	650,000	トンネル工	88.3%
R9	310,000	道路改良工・トンネル工	93.4%
R10	200,000	舗装工・トンネル工	96.7%
R11	200,000	舗装工	100.0%
合計	6,055,553		